

洛西だより



竹の子

令和4年1月6日発行
京都市立洛西中学校
文責：校長 高垣明夫
第11号

「自立・貢献・夢さがし」～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～



令和4(2022)年、寅年がスタート！

新年、あけましておめでとうございます。令和4(2022)年、寅年がスタートしました。「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読み「延(えん)」から「延ばす・成長する」という意味を持っているといわれています。そこで、「寅年」は「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさを表しています。2学期終業式でもお伝えした通り、今、洛西中学校は新たなステージにステップアップしようとしています。が、「寅年」に因んで、さらに成長していけるように願っています。



まとめの3学期、次年度への助走の3学期！



3学期はまとめの学期であるとともに、次年度への助走の学期でもあります。3年生は、中学校生活のまとめを行うと共に、自らの進路実現(新しいステージ)に向けて取り組んでいきます。願書点検、出願、受験票の受理、入試当日、結果発表と続いていきます。提出書類の期限を守り、今まで培ってきた力が発揮できるように、体調管理に努めてください。2年生は、4月の3年生のスタートがスムーズにきれるように、この2年間に学んだことを定着させて、最終学年への準備を進めていきます。1年生は、この1年間で本当に中学生らしくなってきました。自ら考え行動する力をさらに伸ばし、学校を動かす中核学年の2年生になる準備をしていきます。また、3学期は「1月はいぬ、2月はにげる、3月はさる」というように、とても早く過ぎ去っていきます。1日1日を大切に、1年のまとめをしっかり行い、次年度へのより良い準備を行っていきましょう。



他律から自律へ、そして自立へ！

小学校低学年のときには、「人として、行ってはならないこと」や「集団や社会のルールを守ること」などを、先生や保護者から教えてもらい、善悪の判断や規範意識の基礎を形成してきました。小学校高学年から中学生になると、集団における自分の役割の自覚や主体的な責任意識が芽生え、人から言われなくても自分で考え、正しい判断に基づいた行動ができるようになります。また、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考するようになります。そして、社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力が身についていくことになります。



思い出に残る素晴らしい卒業式に！



3年生はあと46日の登校で、3月15日の卒業式を迎えます。参加はできませんが、洛西中で共に学んだすべての人から祝福される、素晴らしい卒業式にしたいです。また、コロナ禍で形態は流動的ですが、1・2年生が主体となる「3年生を送る会」が、心のこもった3年生の思い出に残る素晴らしいものになることを期待しています。